

日本マーチングバンド協会

新型コロナウイルス感染症に係るマーチング活動の手引きによると

2.基本的な感染症対策の一例、として以下のテキストが参照されます。

(1)こまめな手洗いや手指消毒、休憩時間にうがいを行うなど基本的な感染症対策を行う。
(うがいについては、他にうつさない、口腔内を清潔にすることで他の感染症を防ぐ目的と考える。)

(2)使用するタオル、つば拭きなどは各自で用意し共用しない

(3)握手・ハイタッチなどは行わない。

(4)楽器から出る結露水や唾液などの処理場所を限定し、拡散しない対策を行うとともに事後の処理を適切に行い感染の防止に努める。

(5)唾液などの付いた手や手袋で、目などを拭いたりこすったり、他人に触れたり他人の楽器に触れたりすることがないように配慮する。

(6)共用する楽器については、

1管楽器については共用しない。2ピット楽器や手具などについては事前、事後にこまめに手指やマレット等の消毒を行う。3管楽器以外はマスクやフェイスガード等を着用するよう努める。

(7)体温測定や体調管理について

1練習や各種本番において各メンバーの体温測定を行い記録する。

2風邪の症状や発熱を認められる者については参加を見合わせる。

3体調管理と聞き取りをしっかりと行い、他のメンバーのためにも体調不良の場合は適正に申告し参加を見合わせる。(可能であれば直近2週間以内に、平熱を超える発熱、咳・喉の痛みなど風邪の症状、だるさ、息苦しさ、味覚嗅覚異常、が無いかを継続確認する)

4感染拡大している場所に最近行った、感染が報告されている知人が居る場合、一定期間の参加を見合わせるなど感染を広めない対応を行う。